

Qの会

第2号



平成17年8月1日

広報部

Qの会総会・研修会 開催決定

第1回香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会「総会・研修会が10月23(日)に開催されることになりました。

今回は「What's CDE?」というメインテーマの下、総会と共に研修会も予定されています。香川大学医学部看護学科 宮武陽子先生の基調講演「CDEに期待するもの」と「CDE自らがエンパワーするために」というテーマのパネルディスカッションが行われます。

まず、基調講演をされる宮武陽子先生に講演の内容をお聞きしました。
『看護職としてのCDEに望むもの』 今、多職種の中でCDEが誕生し、相互にその責を果たしつつ、連携するものが求められています。看護職者としてのCDEの果たす役割はいつたいなんでしょか?他の職種とどこが違うのでしょうか?糖尿病看護の現状をふまえつつ、将来を展望し、看護職者としてのCDEの役割・責務について考えてみたいと思います。

次に、パネルディスカッションに参加する三人の糖尿病療養指導士にも話を聞いてみましょう。

とみおか内科クリニック 谷脇直美さん 「看護師外来、ここだけの話...」一昨年、糖尿病学会地方会で、当院の看護師外来について発表させていだきました。そこでは発言できなかった苦労話もいろいろございます。システム立ち上げの際や、立ち上がってからも「本当はね...」という話をする中で、他ならぬCDE自身のエンパワーメントを図りたいと思っています。

香川県立中央病院 渡辺法子さん フットケア外来を立ち上げ、今に至るまでに10年。最初は継続した支援を目指し、外来と病棟間の連携から始まりました。糖尿病教室に参入しパス作成の波に乗ってチーム医療が強化され現在に至っています。糖尿病とともに泣き笑い、様々な試練を乗り越え、た秘訣は何かを考えてみました。

坂出市立病院 溝上貴世さん 「CDEとして、過去、現在、そして未来へ」というテーマで、一般病院混合病棟での

実際の取組みの様子を紹介したいと思います。CDEを取得し、糖尿病に興味になりました。しかし、自分のやりたいこと、できなことを、自分らしく取り組めるようにするには、どうしたらよいか試行錯誤の毎日です。夢は、自己実現。この永遠の大きなテーマに向かつて、チャレンジし続け、1人の看護師であるCDEのワトリーをお聞きください。
皆さん身近な話題ですね。CDEとして活躍している人達の貴重な経験を今後の活動に生かすチャンスです。ぜひ詳しい話を聞いてみてください。この研修会では糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位として第1群あるいは第2群で1〜2単位が取得できます。一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております。

なお、総会は役員の出欠や予算案・会則の承認という「Qの会」設立の為の大切な議題が予定されています。現在、100名近くの方から会員の申し込みをいただき、予想以上の反響に準備委員会のメンバーたちも驚いています。総会には是非多くの会員の皆さんに参加をして頂きたいと願っています。

やむを得ず欠席される方は委任状をご提出下さい。
*糖尿病ウォークラリー
日時 2005年10月30日
場所 栗林公園



香川県の現在のCDE

2000年から始まった日本糖尿病療養指導士の資格を持つ人は何人くらいでしょうか?
2004年までに全国では11778人(内、看護師・准看護師5753人)います。
香川県では、153人が資格を持っていて、この内73人が看護師・准看護師です。
これらの人々がこれまで、別々にそれぞれの施設で療養指導を行って来ました。
Qの会によってこれらの人々のつながりが出来、お互いを高める場になるように活動していきたいと考えています。また、糖尿病看護をめざす人が増え糖尿病療養指導士の仲間が増えることを期待しています。

学会・研修会のご案内

- 認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。
- 第10回日本糖尿病教育・看護学会・・・第1群4単位
日時：2005年9月17日(金)〜9月18日(土)
場所：福岡国際会議場
- 第20回中国・四国新臨床糖尿病セミナー
日時：2005年10月15日(土)
場所：徳島県
- 日本糖尿病学会第43回中国・四国地方会・・・第2群4単位
日時：2005年11月11日(金)〜11月12日(土)
場所：サンポートホール高松
- 第40回糖尿病学の進歩
日時：2006年2月17日(金)〜2月18日(土)
場所：石川県金沢市

編集後記 海や山の恋しくなる季節となりました。Qの会の総会が開催されることになりうれしく思っています。糖尿病看護について一緒に考えていきたいと思えます。多くの皆様のご意見をお待ちしております。
広報担当 串田久美

発行所 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会